



# 1 アンケート調査票の様式

直接交流を実施している場合に御記入ください。

様式 1

## 副籍制度の充実に向けたアンケート調査票

お子様の学部・学年	( ) 学部 ( ) 年
障害の種別 (在籍校の種別を○で囲んでください。)	視覚障害 ・ 聴覚障害 ・ 肢体不自由 ・ 知的障害 ・ 病弱
制度利用の継続年数	本年度現在(通算) : ( ) 年目

※ 該当する回答の空欄に○印を記入してください。

No.	設 問	そう思う	まあ そう思う	あまり 思わない	思わない	どちらとも 言えない
1	直接交流の内容に満足している。					
2	直接交流の継続により、我が子の成長が感じられる。					
3	直接交流の継続により、地域指定校の児童・生徒の理解が進んだ。					
4	直接交流の継続により、地域指定校の教員(学級担任)の理解が進んだ。					
5	直接交流の継続により、障害のある子供に対して、地域指定校全体の教員や保護者の理解が進んだ。					
6	来年度以降も副籍(直接交流)を継続したいと思う(中学部3年は除く)。					
7	直接交流は、共生社会の形成に向けて意義がある。					
8	「今後、都立特別支援学校の小中学部に在籍する児童・生徒は、原則として全員が副籍をもち、交流を希望する人は交流を進めた方が良い」という考え方がありますが、このことについてどう思いますか。					
○ 交流を通じて印象に残っている出来事などがあればお書きください。(利用してよかったと思う出来事、残念に感じたことなど)						
○ 副籍制度の充実に向けて御意見・御要望がありましたらお聞かせください。						

\* 共生社会=障害の有無にかかわらず、誰もが相互に人格や個性を尊重し支え合う社会

御協力ありがとうございました。

間接交流を実施している場合に御記入ください。

様式 2

## 副籍制度の充実に向けたアンケート調査票

お子様の学部・学年	( ) 学部 ( ) 年
障害の種別 (在籍校の種別を○で囲んでください。)	視覚障害 ・ 聴覚障害 ・ 肢体不自由 ・ 知的障害 ・ 病弱
制度利用の継続年数	本年度現在(通算) : ( ) 年目

※ 該当する回答の空欄に○印を記入してください。

No.	設 問	そう思う	まあ そう思う	あまり 思わない	思わない	どちらとも 言えない
1	間接交流の内容に満足している。					
2	家族で、学校だよりなどが届くことを楽しみにしている。					
	地域指定校からの学級だより等はどのような方法で届きますか。 ア 郵便等 (地域指定校から直接届く・在籍の特別支援学校を経由して) イ 地域指定校の児童・生徒が届けてくれる ウ その他 ( )					
3	間接交流の継続により、地域指定校の様子を知ることができる。					
4	今後、直接交流を希望したい。					
	「あまり思わない」「思わない」とお答えになった方はなぜそう思うのかお書きください。					
6	来年度以降も副籍を継続したいと思う。					
7	副籍制度は、共生社会の形成に向けて意義がある。					
8	「今後、都立特別支援学校の小・中学部に在籍する児童・生徒は、原則として全員が副籍をもち、交流を希望する人は交流を進めたほうが良い」という考え方がありますが、このことについてどう思いますか。					
○ 交流を通じて印象に残っている出来事などがあればお書きください(利用してよかったと思う出来事、残念に感じたことなど)。						
○ 副籍制度の充実に向けて御意見・御要望がありましたらお聞かせください。						

\* 共生社会＝障害の有無にかかわらず、誰もが相互に人格や個性を尊重し支え合う社会

御協力ありがとうございました。